

平成29年9月22日

各部局長 様

山田 拓郎

平成30年度当初予算編成方針について（通知）

当市の財政状況については、今年度各課が提出した実施計画事業（平成30～33年度）に基づき、今後4年間の財政シミュレーション（資料2）を作成しましたので、十分ご確認いただきたいと思っております。なぜなら、このシミュレーションは、我々が直面するだろう犬山市の未来を数値化したものだからです。各年度とも歳出が超過し、予断を許さない状況ですが、単に課題を先送りするだけにならないよう、事業選択と優先順位付けを厳格に行い、予算編成を進めていかなければなりません。ついては、引き続き「産業が栄え 幸福が実感できる犬山」を目指し、次の事業を軸として平成30年度の予算編成を目指すこととします。

- ① 総合計画に基づく都市計画の推進（市街化区域内における低未利用地の活性化など）
- ② 安全安心まちづくりの推進（防災マップ・ハザードマップの作成、Jアラート受信機の改修、大規模盛土造成地の調査、AEDの配備拡充など）
- ③ 就学環境の改善（楽田小学校の改修、施設整備計画に基づく各小学校のトイレ改修など）
- ④ 地域を結ぶコミュニティバスの充実（利便性の強化により満足度のアップ）
- ⑤ 地方創生に呼応する事業の推進（人材バンクの構築、活躍の場づくり事業など）
- ⑥ 少子高齢化等により社会保障費が増大する中での充実した福祉施策の堅持（国民健康保険広域化に伴う保険料負担の激変緩和、現行サービス水準の維持）
- ⑦ 懸案事項への取り組み（広域ごみ処理事業の推進、施設予約システムの構築、都市計画道路の整備、橋梁長寿命化、養護老人ホームの民営化など）
- ⑧ ファシリティマネジメントの推進（福社会館、フロイデ、楽田出張所など）
- ⑨ 財源確保（企業立地の促進、ふるさと犬山応援寄附金の獲得、不要財産の売却など）

予算編成に向けて、以下の点に留意の上で進めてください。

- ・ 創意工夫による市民サービスの利便性・効率性・付加価値の向上
- ・ 業務の総点検、総見直し（事業や事務のあるべき姿の再検証、先進自治体や民間との比較など）
- ・ 事業効果と市民の信頼を高めるための見せ方・伝え方の工夫
- ・ 資産の処分と活用（シェアリングエコノミーを含む）を創意工夫することで、新たな財源確保や資産の有効活用に向け全職員が積極的に取り組むこと
- ・ 平成30年度当初予算への計上を予定していない事業にあっても、事業化に向け、着実に進捗を図ること（道の駅、カーボンマネジメントなど）